



(株)育脳寺子屋MAC 本部教室 MAC真成塾
〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20
電話:(075)871-0374 FAX:(075)882-3777

2019年
2月号

Mathematics Abacus Chinese character

MAC NEWS

お子さんが大人になった時、社会で活躍できるヒントがいっぱい！！

なぜ、紀元前に書かれた

「論語」を今の時代に習うのか？

し いわ
「子曰く～・・・」



小学部の授業中、1時間ほど経つとMACの教室には論語を音読する声が響きます。

「論語」とは、古代中国の思想家、孔子の教えを弟子たちが書き留めたもので、紀元前5世紀頃に記されたとされています。

応神天皇（西暦 390 年頃）の時代に漢字や仏教と共に日本に伝わり、聖徳太子や空海なども好んで論語を学んでいたといえます。

江戸時代になると幕府から奨励され、全国の寺子屋で論語が学ばれ、一般庶民にも暗唱されるようになります。その結果、今の日本人の道徳規範や倫理観と深く関わるものとなったのです。

論語には人の生きる道や考え方、道徳などが述べられており、育脳寺子屋MACの考

え方・指導理念と見事に一致する言葉も多くあります。紀元前に書かれたものではありますが、今の時代にこそ子供たちに読ませたい内容となっているのです。

そのような理由からM A Cの小学部の授業では、毎回一つずつだけですが論語の音読を行っています。（その際はくどくど解説まではしていませんが、書き下し文と大意を読んでいます。学校の道德の時間でも論語に取り組んだらいいのにな・・・と思います）

せっかく子供たちにも「論語」を学んでもらっているのです、今回のNEWSは『ぜひ親御さんにも読んで頂きたい論語』を選んでみました。

子供たち同様、心の中でぜひ「子曰く～（しいわく～）」と読んでみてください。

しいわ　ひと　おのれ　し　うれ　ひと　し　うれ
子曰く、人の己を知らざるを患えず、人を知らざるを患うるなり。

【大意】先生がおっしゃった。人が自分を認めてくれないことを心配しない。それよりも、自分が他人を認めているかどうかを心配しなさい。

しいわ　くんし　き
子曰く、君子は器ならず。

【大意】先生がおっしゃった。立派な人とは、あることだけに役立つ人ではなく、あらゆることに役立つ人の事だ。

そうしいわ　われ　ひ　み　わ　み　かえり　ひと　ため　はか　ちゅう
曾子曰く、吾日に三たび吾が身を省みる。人の為に謀りて忠ならざるか。

ほうゆう　まじわ　しん　なら　つた
朋友と交りて信ならざるか。習わざるを伝うるか。

【大意】曾子がおっしゃった。私は毎日三回、自分の言った事を反省する。人の為に真心を尽くしたか、友達に対して嘘をつかなかったか。自分のよく分かっていない事を、人に教えはしなかつたか。

しいわ われじゅうゆうご がく こころざ さんじゅう た しじゅう
子曰く、吾十有五にして学に 志 し、三十にして立ち、四十にして
まど ごじゅう てんめい し ろくじゅう みみしたが しちじゅう
惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳 順 う。七十にして
こころ ほつ ところ したが のり こ
心の欲する所に従いて、矩を踰えず。

【大意】先生がおっしゃった。私は十五歳で学ぶことを志し、三十歳で学ぶことを自立でき、四十歳で迷うことがなくなった。五十歳で天から与えられた使命を知った。六十歳で人の意見を素直に聞けるようになり、七十歳になったら自分の思うように行動しても、人の道を外れる事はなくなった。

しいわ まな おも すなわ くら おも まな すなわ あや
子曰く、学びて思わざれば 則ち罔し。思いて学ばざれば 則ち殆うし。

【大意】先生がおっしゃった。学ぶだけで、自分で考えなければ、本当の知識は身につかない。自分で考えるだけで、学ぶことをしなければ危険である。

しいわ くらい うれ もつ た うれ おのれ
子曰く、位なきを患えず、以て立つなきを患う。己を
し うれ し うれ
知るものなきを患えず、知らるべきなきを患うるなり。

【大意】先生がおっしゃった。自分に地位がないことを心配せず、その地位に立てていない理由について心配しなさい。人に認められない事を心配せず、人が認めざるをえないほどの大きなことを、できていない現実を心配しなさい。

しいわ くんし ぎ さと しょうじん り さと
子曰く、君子は義に喩り、小人は利に喩る

【大意】先生がおっしゃった。立派な人は、正しい道の行いを求める。
立派でない人は、目先の利益を求める。

しいわ さんにおこ かなら わ しあ そ よ もの
子曰く、三人行なわば、必ず我が師有り。其の善き者を

えら これ したが そ よ もの これ あらた
扱びて之に従い、其の善からざる者は之を改む。

【大意】先生はおっしゃった。三人で行動すると、必ず自分の手本になる人を見つけることができる。その良いところは見習い、手本にならない人がいたら、自分にもそのようなところがないか省み、改める。

しいわ たと やま つく ごと いま な いっき や わ
子曰く、譬えば山を為るが如し。未だ成らざること一簣なるも、止むは吾

や たと ち たいら ごと いっき か いえど すす
が止むなり。譬えば地を平かにするが如し。一簣を覆えずと雖も、進む
わ ゆ
は吾が往くなり。

【大意】先生がおっしゃった。学ぶという事は、例えれば山を作るようなものだ。最後のもうひとつで出来あがるのに、それをしなければ、仕事は未完成である。学ぶという事は、地面を平らにするようなものでもある。ひとつの土を穴に入れれば、それで一步進んだことになる。

しいわ がく およ ごと なおこれ うしな おそ
子曰く、学は及ばざるが如くす。猶之を失わんことを恐る。

【大意】先生はおっしゃった。学ぶことは、いくら学んでも学んでも、十分ではないという思いを持ち続け、その上、覚えたことを忘れないように心がけよ。

し か いわ しょうじん あやま かなら かざ
子夏曰く、小人の過ちや、必ず文る。

【大意】子夏はおっしゃった。立派でない人は、間違いを犯すと必ず何らかの言い訳をする。

ろうしいわ　ひと　さず　さかな　も　りょう　も　し
老子曰く、人に授けるに魚を以ってするは、漁を以ってするに如かず

**【大意】ある人に魚を一匹与えれば、その人は一日食える。
魚の取り方を教えれば、その人は一生を通して食える**

最後の1つは論語ではありませんが、老子が残した中国の諺（ことわざ）です。

MACの指導理念は、まさにこの言葉に集約されます。

MACも塾なので、当然のことながら勉強を教えるはいるのですが、テストで点数を取る為だけに勉強を教えているのではなく、勉強を通して『学び方』を身につけてもらおうと思い、日々指導しています。

『学び方』を身につけることができれば、勉強以外のことでも、社会人になってからの仕事面でも、人に教えてもらわなくても、自ら成長を続けていくことができます。

どんなことでも、「やり方を教え、結果がでるようになるまで続ける」ことは、指導する側も非常に根気のいることで、取り組んでいる本人も辛く、長い長い道のりに感じることだと思います。

それこそ、もっと楽しんで結果が出せる方法があればそちらに逃げたいと思うでしょう。

しかし、すぐに結果が出るような方法は、またすぐに結果がでないようになる、すぐに役立たなくなる方法です。

すぐに結果が出なくとも地道にコツコツ・・・という方法は、大抵の人は途中で諦めます。だからこそ、諦めずに続けた人は途中で諦めた大勢に勝てるのです。

ちなみに、「AとBの選択肢、どちらを選ぶか迷ったら『苦しい方』の道を選ぶ」というのが私の考えです。MACに通うみなさんも、地道にコツコツ・・・の頑張り続け、キラキラ輝いた最高の人生を送って欲しいと思います。

みんなは育脳寺子屋で何を学んでる？

切り絵をしたり、積み木やブロックをしたり、論語を読んだり、育脳トライアルをしたり、美しい文字を書いたり・・・育脳寺子屋では一体何を学んでいるの？

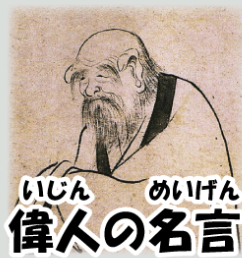
みなさんは「学び方」を学んでいるのです！

そろばんに取り組むことで計算が強くなりますし、積み木やブロックに取り組むことで図形の問題に強くなりますし、育脳トライアルに取り組むことで様々な方向から物事を見られるようになりますし、書写に取り組むことで美しい文字を書けるようになります。

しかしそれだけではなく、勉強を通して「学び方」そのものを学んでもらっているのです。学び方を身につけられれば、勉強以外でも、将来仕事をできるようになってからでも困ることはありません。

「分からない事もすぐに教えてもらおうとせず、まずは自分で考えて～」とよく先生が言っていると思いますが、その経験が「**自ら学ぶ力**」につながるのです。

今楽に逃げてしまえば、将来は苦しいものになります。逆に今のうちにコツコツ頑張ることを続けていけば、将来はキラキラ輝く楽しい未来が待っています。自分の明るい未来の為に『今』を頑張りましょう。



いじん めいげん
偉人の名言

「釣った魚を与えるのではなく、
魚の釣り方を教えなさい」

ろうし ちゅうごくしゅんじゅうだい てつかくしゃ
老子 ～中国春秋時代における哲学者～

自分の部屋の目立つところに貼って、読み返すようにしましょう。